

## ドイツ語 (初級 B) 第 25 回 関係代名詞

範囲 : 教科書第 15 課 (S. 60-61)

### 《今回の基本例文》

83. Wie gefällt dir der VW, der dort an der Ecke steht? (CD76-2)

あそこの角に停まっているフォルクスワーゲンをどう思う？

[定関係代名詞 1 格]

84. Kennen Sie die Leute, deren Koffer hier stehen? (CD76-4)

ここにトランクを置いている、あの人たちをご存じですか？

[定関係代名詞 2 格]

85. Der Polizist sucht den Fahrer, dem das Auto hier gehört. (CD76-6)

警察官は、ここにある自動車の持ち主であるドライバーを探している。

[定関係代名詞 3 格]

86. Der Film, den ich gestern Abend im Fernsehen gesehen habe, war sehr interessant. (CD76-7)

私が昨夜テレビで見た映画は、非常におもしろかった。

[定関係代名詞 4 格、(現在完了)、(過去形)]

87. Das Zimmer, in dem wir übernachtet haben, war ungeheizt. (CD76-10)

私たちが泊まった部屋は、暖房が入っていなかった。

[前置詞 + 定関係代名詞、(現在完了)、(過去形)]

88. Wer viel raucht, schadet seiner Gesundheit. (CD77-1)

煙草をたくさん吸う者は、健康を害する。

[不定関係代名詞 wer]

89. Was man heute tun kann, darf man nicht auf morgen verschieben. (CD77-3)

今日できることは明日に延ばしてはいけない。

[不定関係代名詞 was、不定関係代名詞節の主文中の役割を示す指示代名詞 das]

## I 定関係代名詞

### ■ ドイツ語の関係代名詞の総論

先行詞 → 性と数を決定

関係文中の役割 → 格を決定

関係文 = 定動詞後置 (副文なので)

主文と関係文のあいだに必ずコンマ

◇ ある名詞を修飾するために後置される副文を導く接続詞を、**関係代名詞**という (英語と同じ)。

He is a student who learns German.

(先行詞) (関係文)

**先行詞**、**関係代名詞**、**関係文**などの用語や概念についても、英語と同じ。

**1 定関係代名詞 der (S. 60)**

◇ **定関係代名詞** (先行詞を含まない関係代名詞) は **der** で、指示代名詞の **der** (⇒教科書 S. 51) とまったく同じ性数格変化をする。強く発音するのも同じ。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	die
2 格	<b>dessen</b>	<b>deren</b>	<b>dessen</b>	<b>deren</b>
3 格	dem	der	dem	<b>denen</b>
4 格	den	die	das	die

\* 指示代名詞 **der** 同様、定冠詞とほぼ同じ変化形で、2 格の **dessen** および **deren**、複数 3 格の **denen** にだけ気をつけよう。

\*\* 定関係代名詞にはほかに **welcher** があり、変化形は **dieser** 型の指示代名詞と同じになる (⇒教科書 S. 19) が、今日ではあまり使われない。

◇ 英語の *which* や *who* にあたるが (*that* は省略)、先行詞が物か人間かによる区別はない。

	物	人間
主格	<i>which</i>	<i>who</i>
所有格	<i>of which / whose</i>	<i>whose</i>
目的格	<i>which</i>	<i>whom (who も可)</i>

これに対して、ドイツ語では目的格が 3 格と 4 格に分かれ、物/人間の代わりに性数の区別がある。

◇ 関係代名詞に導かれる関係文は副文の一種なので、必ず**定動詞後置**になる。 (⇒教科書 S. 34-35)

◇ 基本的に、

- ・ 関係文の**主語** → **1 格**
- ・ 関係文の**3 格目的語** → **3 格**
- ・ 関係文の**4 格目的語** → **4 格**

の関係代名詞を用いる、と考えればよい (以下、教科書の例文を個別に見ていく。わかりやすくするため、先行詞に囲い、関係代名詞に網掛、関係文に下線をつける)。

```

.....
(1 格) Der Mann, der dort steht, ist unser Lehrer.
.....
        あそこに立っている男性は、私たちの先生である。
.....
*   der Mann が先行詞 (男性)。
.....
**  der が関係代名詞 (男性 1 格) → 関係文の主語 = 1 格。
.....
*** 「あそこに立っている (der dort steht)」 「男性は (der Mann)」 「私たちの先生です (ist unser Lehrer)」 の順番 (関係文
.....
→ 先行詞 → 主文) で訳するのが基本だが、慣れたら左から右に読んでいってもよい。以下同様。
.....
(3 格) Der Mann, dem ich geholfen habe, hat mir nicht einmal gedankt.
.....
        私が手助けしてやったその男性は、私にお礼さえ言わなかった。
.....
*   der Mann が先行詞 (男性)。
.....
**  dem が関係代名詞 (男性 3 格) → 関係文の (helfen の) 3 格目的語。
.....
*** 「私が助けてあげた (dem ich geholfen habe)」 「男性は (der Mann)」 「私にお礼さえ言わなかった (hat mir nicht einmal
.....
gedankt.)」。
.....
**** nicht einmal は熟語 (副詞句) で「~さえしない」の意味 (英語の not even)。
.....
.....

```

(4格) **Der Mann, den ich heute besuchen möchte, ist mein Freund.**

私が今日訪問しようと思っているその男性は、私の友人である。

\* der Mann が先行詞 (男性)。

\*\* den が関係代名詞 (男性4格) → 関係文の (besuchen の) 4格目的語。

\*\*\* 「私が今日訪問しようと思っている (den ich heute besuchen möchte)」「男性は (der Mann)」「私の友人です (ist mein Freund)」。

◇ **2格**の関係代名詞は、すぐ次の名詞を「**先行詞**の」というかたちで**修飾**する。一方、**2格**の関係代名詞+名詞の結合は、関係文中で主語にも**3格**目的語にも**4格**目的語にもなりうるので、その都度あらためて判断しなければならない。

(2格) **Der Mann, dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe, heißt Herr Müller.**

私が見せた写真の男性は、ミュラー氏という。

\* der Mann が先行詞 (男性)。

\*\* dessen が関係代名詞 (男性2格) → dessen Bild でひとかたまり。

\*\*\* dessen Bild の関係文中での役割は、関係文を詳しく読まないといけない。この場合は dessen Bild が zeigen の4格目的語になっている。

\*\*\*\* 「その写真を私が見せた (dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe)」「男性は (der Mann)」「ミュラー氏といいます (heißt Herr Müller)」。

◇ 英語 (*in which, with whom* など) と同じく、前置詞が関係代名詞の前に置かれることもある (**前置詞+関係代名詞**)。その場合、関係代名詞の格は前置詞の**格支配**によって決定される。

(前置詞+関係代名詞) **Gehen wir in ein Café, in dem es nicht so laut ist.**

あまりうるさくない喫茶店に行きましょう。

\* ein Café が先行詞。Café は中性で、また in+4格と考えられるので、中性4格。

\*\* in dem が前置詞 in+関係代名詞 (中性3格) → 関係文の副詞句 (in+3格)。英語の *in which* と同じ。

\*\*\* この場合、in は3・4格支配だが、in dem Café は in+3格 (位置関係を表し、移動の目的地ではない) なので、関係代名詞は3格と考えられる。

\*\*\*\* 「そのなかはさほどうるさくない (in dem es nicht so laut ist)」「喫茶店 (ein Café)」「に行きましょう (Gehen wir in ...)」。

◇ なお、以上はいずれも**制限用法**である。ドイツ語の関係代名詞にも制限用法と**非制限用法**の区別があるが、必ず関係代名詞の前にコンマが入るので (つまり英語のようにコンマの有無によっては制限用法/非制限用法の区別が示されない)ので、文脈からいずれかを考えねばならない。

## 練習問題の補足

### Übung 1

2. VW は Volkswagen の略。

3~4. 前述のように、2格の関係代名詞+名詞の結合は、関係文中で主語にも3格目的語にも4格目的語にもなりうる。3の dessen Geburtstag は関係文の4格目的語、4の deren Koffer は関係文の主語。

8. empfehlen は3格目的語と4格目的語をとり、「〈3格〉に〈4格〉を勧める」の意味。

## II その他の関係文: 関係副詞、不定関係代名詞

### 2 関係副詞 wo (S. 61)

◇ 先行詞が場所や時刻を表す語句の場合、**関係副詞 wo** を用いる。先行詞は名詞か副詞。

\* 英語の関係副詞のように *where* と *when* の区別はなく、先行詞が場所でも時間でも一様に **wo** を用いる。*wenn* は関係副詞にはならないので注意。

Die Stadt, **wo** ich geboren bin, liegt an der Nordsee.

= Die Stadt, **in der** ich geboren bin, liegt an der Nordsee.

私の生まれた町は北海のほとりにある。

\* 先行詞が場所を表す名詞である事例。

\*\* 関係副詞 **wo** は、先行詞が名詞の場合、前置詞+関係代名詞に置き換え可能。

\*\*\* geboren は gebären (vt. 〈4 格〉を産む) の過去分詞。存命人物について「生まれた」と述べる場合は、状態受動の現在 (sein+過去分詞) を用いる。 (⇒教科書 S. 57)

Jetzt, **wo** der Chef fort ist, gehen wir auch alle nach Haus.

上司が去ったいま、私たちがみな家に帰る。

\* 先行詞が時間を表す副詞である事例。

Wo früher Wiesen waren, stehen jetzt Häuser.

= Im Ort, **wo** früher Wiesen waren, stehen jetzt Häuser.

むかしは草原だったところに、いまは家が立ち並んでいる。

\* 一方、このように先行詞がない事例もある (敢えて加えれば Ort (m. 場所) になる)。こうした場合、従属の接続詞による副文と見かけ上はまったく変わらなくなる。

### 3 不定関係代名詞 wer と was

**wer** + 関係文: 「~する人」

**was** + 関係文: 「~するもの、~すること」

◇ **不定関係代名詞** (先行詞を含む関係代名詞) は **wer** あるいは **was** で、やはり関係文中の役割に応じて格変化する。格変化は、疑問詞の **wer** や **was** とまったく同じである。 (⇒教科書 S. 13)

\* 英語の *what*, *whatever*, *whoever* などにあたる。

	<b>wer</b>	<b>was</b>
1 格	wer	was
2 格	(wessen)	(wessen)
3 格	wem	-
4 格	wen	was

◇ **wer** なら「~する人」、**was** なら「~するもの、こと」の意味になる。つまり、これら**不定関係代名詞**に導かれる節は**名詞節の扱い**になる (dass 節や ob 節と同じ)。

◇ 不定関係代名詞 **wer** や **was** に導かれる関係文はほぼ主文に先行するので、**主文中の役割を明示するため、主文の頭に指示代名詞 der** の格変化形 (単数) を置くことが多い (置かなくともよい)。その場合、**wer** 節 (人) に対しては男性形の **der**、**was** 節 (物) に対しては中性形の **das** を用いる。

◇ 以下、教科書の例文を個別に見ていく。わかりやすくするため、関係代名詞に網掛、指示代名詞 **der** に波線、関係文に下線をつける。

(人の1格) Wer jetzt kauft, [der] kauft 20% billiger.

いま買う人は、20%安く買えます。

- \* 関係文は wer jetzt kauft。
- \*\* wer なので人間を示し、関係文の主語=1格。「いま買う人」。
- \*\*\* wer jetzt kauft 全体が主文の主語 → 指示代名詞男性1格の der を添えて可。
- \*\*\*\* 「いま買う人」「は、20%安く買えます ([der] kauft 20% billiger)」。%は Prozent と読む。

(人の3格) Wem das nicht passt, der kann ja gehen.

これが気に入らない人は、帰っていいですよ。

- \* 関係文は wem das nicht passt。
- \*\* wem なので人間を示し、関係文の3格目的語。「これが気に入らない人」。passen は「(3格)の気に入る」の意味。
- \*\*\* wem das nicht passt 全体が主文の主語 → 指示代名詞男性1格の der を添えて可。
- \*\*\*\* 「これが気に入らない人」「は、帰ってもよい (der kann ja gehen)」。

(人の4格) Wen wir lieben, [den] möchten wir nicht verlieren.

私たちは愛する人を失いたくない。

- \* 関係文は wen wir lieben。
- \*\* wen なので人間を示し、関係文の (lieben の) 4格目的語。「私たちが愛する人」
- \*\*\* wen wir lieben 全体が主文の4格目的語 → 指示代名詞男性4格の den を添えて可。
- \*\*\*\* 「私たちが愛する人」「を、私たちは失いたくない」 ([den] möchten wir nicht verlieren)。

(物の4格) Was Sie gesagt haben, [das] ist vollkommen richtig.

あなたが言ったことはまったく正しい。

- \* 関係文は was Sie gesagt haben。
- \*\* was なので物を示し、関係文の (sagen の) 4格目的語。「君が言ったこと」。
- \*\*\* was Sie gesagt haben 全体が主文の主語 → 指示代名詞中性1格の das を添えて可。
- \*\*\*\* 「君が言ったこと」「は、完全に正しい ([das] ist vollkommen richtig)」。

(物の4格) Du kannst machen, was du willst.

君はやりたいことをやってよい。

- \* 関係文は was du willst。この wollen は話法の助動詞ではなく本動詞 (4格) を望む。
- \*\* was なので物を示し、関係文の (wollen の) 4格目的語。「君が望むこと」。
- \*\*\* was du willst 全体が主文の目的語。語順から自明なので、指示代名詞は添えていない。
- \*\*\*\* 「君が望むこと」「を、君はしてよい (du kannst machen...)」。

◇ 一方、不定関係代名詞でも先行詞をとる場合がある。具体的には、

- 先行詞が中性の代名詞であるとき : alles, etwas, nichts, vieles, das
  - \* alles, etwas, nichts, vieles は不定代名詞、das は指示代名詞。 (⇒教科書 S. 51)
- 先行詞が形容詞の最上級の名詞化であるとき
  - \* 形容詞の最上級はまだ登場しておらず、のちほど扱う。 (⇒教科書 S. 62-64)

これらについては、etwas, was や alles, was などのペアで覚えておくとよい。

◇ 以下、不定代名詞が先行詞をとる場合の教科書の例文。やはり、先行詞に罫、関係代名詞に網掛、関係文に下線をつける。

Wir haben alles, was wir brauchen.

私たちは私たちが必要とするものをすべて持っている。

\* 先行詞が中性の不定代名詞 alles である場合。

\*\* 「我々が必要とする (was wir brauchen)」「すべて (alles)」「を、私たちは持っている (wir haben ...)」。

Das ist das Schönste, was ich je gesehen habe.

それは、私が今までに見た、一番すばらしいものである。

\* 先行詞が最上級の形容詞名詞化である場合。

\*\* 「これは (das ist ...)」「私がこれまでに見た (was ich je gesehen habe)」「最も美しいもの (das Schönste)」である。

### 練習問題の補足

#### Übung 2

1. schaden は 3 格目的語をとる自動詞で、「〈3 格〉を害する、損なう」。
2. et<sup>4</sup>. auf et<sup>4</sup>. verschieben で「〈4 格〉を〈4 格〉にずらす、位置を変える」。なお、ドイツ語では、auf morgen のような前置詞＋副詞のかたちも許される。

#### 練習

( ) 内に適当な関係代名詞を入れ、日本語に訳せ。

1. Ich kenne einen deutschen Professor, ( ) oft nach Japan kommt.
2. Aus Franken kommt der Wein, ( ) Flasche eine besondere Form hat.
3. In Wien haben wir die Touristen gesehen, ( ) wir schon in München begegnet sind.
4. Das Bier, ( ) ich in München bestellt habe, hat sehr gut geschmeckt.
5. Sie sucht einen Partner, mit ( ) sie Musik machen kann.
6. Wie heißt die Frau, auf ( ) er lange gewartet hat?
7. Es gibt auf der Welt Dinge, für ( ) es keine Erklärung gibt.
8. Hier ist etwas, ( ) ich für wichtig halte.
9. ( ) einmal gelogen hat, den glaubt man nicht mehr.
10. ( ) wir damals erlebt haben, können wir nie vergessen.

#### 連絡先など

教員のメールアドレス : tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり) : <http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>